

令和4年度授業評価アンケート結果に基づく 令和5年度の授業改善計画報告書

令和4年度授業評価 アンケート結果について	非常に不満	不満	普通	満足	非常に満足	その他
	0%	0%	44%	50%	0%	6%

	全くできなかった	できなかった	どちらでもなし	出来た	よく出来た	その他
シラバスに基づいた授業展開	0%	6%	6%	75%	13%	0%
シラバスに記載したCP, DPの対応	0%	0%	0%	94%	6%	0%
来年度に向けた改善点の抽出	0%	0%	0%	100%	0%	0%

令和4年度授業評価 アンケート結果による 自己評価(抜粋)	シラバスベースでの授業実施はできたが、もっとアクティブラーニング課題を取り入れたい。授業アンケート回答率が低く、督促方法について検討したい。
	web授業は反応が判りにくいところがありますが、精いっぱい取り組んだと思います。今年是对面とのことですので、昨年度以上の評価になるよう努めたいと思います。
	どの科目も私に担当してほしかったなど嬉しいコメントもあり、全体的にとても良い結果であったが、回答数が少ないため参考にしてよいのか分からない。オンデマンド授業で何度か呼びかけたが、なかなか回答してもらえず残念だった。次年度は対面授業内で回答させる時間を設けるなど工夫し、本来の意味での評価を受けられるように工夫したい。
	対面とオンラインの併用であったが、授業内容に関しては双方の長所を活かしつつ進めることができた。課題や資料をGoogle classroomを通じて配布、提出することで、記録やデータ管理が容易になったことや、大幅な紙容量の削減が達成できた。アンケート結果から改善すべきであると認識できる点は、授業時間以外にいかにか学生の勉強時間を増やすかという課題である。
	数値はおおむね平均を上回っていることから、教育効果はほぼ期待通り達成できたものと考えられる。

令和5年度に向けて、 授業改善を行いたい項目 (複数選択可)	授業計画(シラバス内容)	教材の開発	授業の準備	教授法	成績評価	クラスルームの活用
	19%	44%	31%	50%	19%	38%
	その他(学生へのフィードバックなど)					
	6%					

令和5年度の授業改善計画 (抜粋)	毎回の授業に対する準備や復習等に関して細かく指示を行うことで、課題である授業時間外の学習時間増を達成できると考える。そのための具体案としては、毎回の授業で前回の内容に関する質問をすることで、復習が必要であると学生に認識させ、その受け答えを成績評価の一部に取り入れることで、学生自身のモチベーションにつなげる。しかしながら、過度な勉強量を課すことは学生への大幅な負担増につながることから、1科目15分程度の勉強量増を念頭に置きながら各授業の課題を作成する。
	遠隔授業において一定の成果を得ることができたと考えられるので、対面授業が再開した後も遠隔授業の活用について継続して検討する。
	可能なら学生の質問をよりフレンドリーに受け取りコミュニケーションできるようなレポート計画を考えています。
	学生への配布資料を穴埋めにし、学生がスライドから抜き出し記入するという形をとりつつ、書いている時間にも何かしらすと話をしてしまうので、一旦学生が書く時間を空けながら、大事なところを頭に入れやすいような方法に改善したいと考える。